

いよいよ！明日は、子ども達と一緒に楽しみに待っていた『プレイデイ』です。この行事について理解をして頂くため、先日保護者会を開催しました。お忙しい中、お集まりくださいましたこと、ありがとうございました。

今年は、各担任達がクラスの様子をお伝えすることを中心とした構成にしましたがそれぞれ“子ども達への熱い想いが溢れ過ぎて、持ち時間を超えつい語ってしまった”とのことでした(笑)。普段 ゆっくりとお話することができない分、あれもこれも！と話題を盛りこんでしまったそうですが、温かく受け止めて下さり 本当に感謝でした。

さて つのぶえ保育園では“会場にいる全員が参加し 全員で楽しむ”というテーマで年齢も性別も立場もなく、皆が共に想いを重ね合い 分かち合うひと時を過ごそう！と一般的な『運動会』ではなく、“皆で遊ぶ日”と名付けていることをお伝えしました。

“行事”についての捉え方は 保育方針や教育理念によって異なり、今も 様々ですが、見せることや披露することに重きを置き、当日に照準を合わせ“本番まで”“練習”を重ねていくという取組みの保育プログラムは、つのぶえでは まったく行っていません。子ども達に「きれいに並んで」「みんなと同じように」という指示や号令はありません。きれいに並ぶ・みんなと同じ…という客観的な視点は 周りにいる大人達のものであり子ども達自身には 見えていないこと、今はまだ把握できていないこと…だからです。乳幼児期の子どもにとって“理由がわからないこと”を 敢えて行う必要はありません。“きれいに並ぶ”というよりも“みんなと同じように”というよりも、今 大切なのは子どもひとりひとりが、あるがままのその子らしさを良しとされ 受け入れられながら生き生きと安心して 自らを表現する喜びに満たされて、内なる心を育み合うことです。見た目や外側の 姿かたちに惑わされず、目に見えないものこそに真の価値があること、物事の本質に目を向けられる揺るがない生き方への心の礎を育みたいと願っています。

明日の主演は 子ども達ひとりひとりだけでなく、参加された皆さんお一人お一人です。そして リーダーとして 皆のまとめ役・進行役を務めるのは いるか組の子ども達です。毎年、引き継がれていく最年長の立場としての想いや意識は、今年度の子ども達にも4月からの日々を通して、それぞれの心の中に 少しずつ育まれてきたことと思います。つのぶえ保育園に関わるすべての人達が 一堂に会するのは、このプレイデイのみです。大勢の方々が集まる 広い体育館の中で、初めての大役を経験する10名の子ども達が祈り合いながら自らの想いを出し合い 互いを支え合い 力を発揮する姿が楽しみです。見栄えはよくないかもしれませんが。なんとなく覚束ないところも あるかもしれません。けれども、子ども達の瞳はキラキラと輝き、熱意と意欲、自分の意思で主体的に動き仲間と一緒に笑い合い 励まし合い、楽しんでいる姿であふれていることと思います。直前の昨日、いるか組では リーダーシップについての大きな問題が勃発したようです。その経過や様子等は、ぜひ！いるか組のクラスだよりを お読みいただければ幸いです。人は失敗や過ちを繰り返しながら 一步一步 成長へ変えられる大切さを感じています。

明日は 子ども達と一緒に思いきり遊んでください。どうぞよろしくお願い致します。心温まるひと時を分かち合えますように、神様によって与えられた皆様との出会いを心から感謝し、お一人お一人の上に 豊かな祝福とお守りを 祈りつつ…(石田 記)

『ふたりでも三人でも、わたしの名において集まる所には

わたしもその中にいる。(マタイ 18:20)』